

アクリフレックス

- 1 系統 溶剤1液型アクリルアルキッド樹脂上塗り塗料
- 2 特徴
- 1) 乾燥が速く、塗装作業性に優れています。
 - 2) 一般的なアクリルラッカー塗料の約2倍の膜厚が得られます。
 - 3) 各種素材・下地に対する密着性に優れています。
 - 4) リコート性に優れており、フタル酸樹脂塗料のようなチヂミの心配がありません。
- 3 用途 産業機械、建設資材、ボンベ、ドラム缶、内・外部用機器類、内外部用金属製品等
- 4 適用下塗 APプライマー Mプライマー
メタルエポプライマー

5 塗料性状

項 目	内 容
容姿	1液型
荷姿	16kg
色相	各色
密度	1.20(ホワイト)
粘度	80KU(ホワイト)
不揮発分	56.0%(ホワイト)
引火点	23.5℃(ホワイト)
消防法区分	第4類第2石油類
有機溶剤予防規則	第2種有機溶剤含有
劇物表示	該当なし

注) 上記の数値は標準を示すものであり、ロット等により若干の変動があります。

6 原色一覧

ホワイト	無鉛エロー	無鉛メジウムエロー	オーカー
無鉛インターオレンジ	マザリンブルー	フタロシャニンググリーン	インディアンレッド
ブラック	トルイジンレッド	無鉛スカーレットメジウム	メタリー細目
クリアー			

7 塗装基準

塗色	内 容		
下地処理	基材表面の油分、汚れ、埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする。		
塗装方法	エアスプレー	エアレス	ディッピング(浸漬)
配合比	1液型		
希釈剤	アクリフレックスシンナー		
希釈率(%)	40～50	30～40	30～50
塗布量(g/m ²)	180～220	200～270	70～120
標準膜厚(μm)	30～35	35～40	15～20
ポットライフ	—		

注) 塗布量は実績値に基づき算出しています。

8 乾燥時間・塗装間隔

乾燥時間	指触乾燥	5分(23℃)
	指圧乾燥	60分(23℃)
	完全硬化	5日以上(23℃)
	強制乾燥	60℃×30分
塗装間隔	最小	60分以上(23℃)
	最大	—

溶剤1液型アクリルアルキッド樹脂上塗り塗料

アクリフレックス

9 標準塗装仕様

工 程	材 料	配合比	希釈率 (%)	塗布量 (g/m ²)	塗装方法	乾燥時間 (23℃)
下地処理	シンナー、ワックスオフライト等の脱脂剤により、基材表面に付着している汚染物質、油分を除去する。					
下塗り	素材、用途に適応した下塗りを選定する。 (推奨: APプライマー, Mプライマー, メタルエポプライマー等)					
上塗り	アクリフレックス	1液型	30 ~ 50 アクリフレックス シンナー	180 ~ 220	エアスプレー	(塗装間隔) 60分 (強制乾燥) 60℃×30分
				200 ~ 270	エアレス	
				70 ~ 120	ディッピング	

10 荷姿

製 品 名	荷 姿
アクリフレックス(原色)	16kg
アクリフレックス(調色品)	16kg, 3.5kg
アクリフレックスシンナー(10, 20)	16L

11 塗膜性能

試験項目	試験結果	試験条件	
塗膜の外観	異常なし	目視評価	JIS K5600-4-3
鉛筆硬度	H	鉛筆硬度試験	JIS K5600-5-4
鏡面光沢度	85以上	60度	JIS K5600-4-7
耐衝撃性	異常なし	(デュポン式) 300g×30cm	JIS K5600-5-3
耐水性	異常なし	23℃×7日間	JIS K5600-6-2
耐湿性	異常なし	50℃×96%RH×96時間	JIS K5600-7-2
耐塩水噴霧性	異常なし	96時間	JIS K5600-7-1
耐酸性	異常なし	5%-HCl×24時間浸漬	JIS K5600-6-1
耐アルカリ性	異常なし	5%-NaOH×24時間浸漬	JIS K5600-6-1
耐油性	若干軟化	ガソリン×30分浸漬	JIS K5600-6-1
	異常なし	軽油×24時間浸漬	JIS K5600-6-1
	異常なし	揮発油2号×2時間浸漬	JIS K5600-6-1
促進耐候性	異常なし	サンシャインウェザーメーター(200時間)	外観
	80%		光沢保持率

注) 各塗膜性能試験は標準塗装仕様による。

素 材: ボンデ鋼板

塗 料: アクリフレックス ホワイト(膜厚30μm)

乾 燥: 室温7日間養生

12 使用上の注意

- 1) 使用時にはよく攪拌し、均一な塗料状態にしてからご使用ください。
- 2) シンナーは専用シンナー以外のものを使用しないでください。
- 3) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油分、水分)は塗装前に完全に除去してください。
- 4) 標準塗布量の範囲で、タレ、塗り残し、スケのないように均一に塗装してください。
- 5) 気温5℃以下、湿度85%以上、表面結露の見られる場合には塗装を避けてください。
- 6) 火気のない局所排気を設けた場所でご使用ください。
- 7) 塗装中、養生中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 8) 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、有機ガス用防毒マスク・保護めがね・保護手袋等を着用してください。
- 9) 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づく産業廃棄物として処理するか、または産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 10) その他塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート)を参照してください。